

資 料

日本人口の出生力に関する指標： 男子、女子および男女計，1970～1987年

廣嶋清志・坂東里江子

はじめに

わが国出生力に関する指標は、従来、主に女子について計算されており¹⁾、男子の出生力については近年計算されておらず、山口喜一²⁾によって1955～65年について計算されたものが最後のものとみられる。今回、それ以後の年次を含めて男子についての出生率を算定し、さらに男子の出生率と女子の出生率を平均した出生率として男女計の出生率を算定した。

近年、男子の適齢期末期の未婚率は、女子のそれが安定しているのに対して、しだいに上昇し女子のものを上まわっている。たとえば、男子40～44歳の未婚率は1960年に2.0%、1975年に3.7%、1985年に7.4%であるのに対し、女子40～44歳の未婚率は1960年に3.1%、1975年に5.0%、1985年に4.9%である。これは主として死亡率の低下により、結婚適齢期において、女子の人口の過剰から男子人口の過剰に変化している（後述、参考表3）結果によると思われる。このため、男子の出生力の低下が予想されることから、男子の出生率を計算することにしたものである。

男女こみの率（指標）は、平均寿命について計算されることがある³⁾が、出生率についてはほとんど例がないと思われる。従来、出生率はもっぱら女子の出生率が代表値とされてきたが、これは第1には出産をになうのが女子であり、女子についての出生の統計の方が直接的でより正確である（たとえば、子の出生時に父親は死亡している場合や不明の場合もあり、また出生年齢の範囲は女子の方が狭い）こととともに、第2に人口再生産率の算出に関心が持たれた時、女子の出生率が男子に比べ低かったため、人口再生産の水準が置き換え水準にあるかどうかをより厳しく示すことができるためであったと考えられる。しかし、今日のように逆に男子の出生率が女子の出生率よりも低くなると、人口全体の出生力水準を表すためには男子の出生率自体も大事であり、また男女計の出生率を用いることも必要と考えられる。

出生率の算定には、従来分子は日本人である出生児に限定され、分母は10月1日日本人人口が用いられてきた。しかし、分子と分母を日本人に限定することは、出生という現象が出生児自身と父、母という三者が関わる分子的な事象であることを無視したもので、理論的に不合理であるので、今回は出生率の分子、分母ともわが国の外国人を含む総出生数と総人口を用いる。さらに、1年間の出生数に対比するとその年次の10月1日人口は約3ヶ月後にずれているので、今回の率の分母人口は10月1日

1) 最近のものは、邊辺吉利・坂東里江子、「全国人口の再生産に関する主要指標：1987年」、『人口問題研究』、第189号、1989年、pp.82-87。

2) 山口喜一、「最近の職業別男子就業者の人口再生産に関する主要指標」、『人口問題研究』、第116号、1970年、pp.40-57。

3) 本来、男女計の生命表を作成して求めるべきであるが、国連の人口推計では、男女計の平均寿命は男子および女子の平均寿命の単純平均によって求められている。

人口ではなく年平均人口とした。ただし、比較のため、従来の方法による率も算定した。出生数は厚生省大臣官房統計情報部『人口動態統計』、人口は総務庁統計局『国勢調査報告』および『人口推計資料』による。

方 法

1. 男子の出生率

父の年齢別出生数は人口動態統計による嫡出児についてしか報告されていないので、非嫡出児についての父の年齢別出生数は嫡出児の年齢分布によって比例配分した。近年の非嫡出児は出生児総数の1%に満たない(参考表1)ため、この方法で十分と考えられる。なお、1970年は父の年齢別出生児数が第1子についてしか得られないので、これを全出生児数に対して用いた。

2. 男女計の出生率

男女計の出生率は、各年齢の男と女の出生率を、男と女の人口を重みとして加重平均したものである。これは、各年齢別の男女合計の人口に対する男と女の出生数の合計の比率である。したがって、男子の合計出生率(平均子供数、合計特殊出生率、total fertility rate)を TFR^m 、女子の合計出生率を TFR^f 、男女計の平均子供数を TFR^{mf} とすると、次のように表される。

$$TFR^m = \sum_i \frac{B_{i \cdot}}{P_i^m}, \quad TFR^f = \sum_j \frac{B_{\cdot j}}{P_j^f}$$

$$TFR^{mf} = \frac{\sum_k \frac{B_{k \cdot} + B_{\cdot k}}{P_k^m + P_k^f}}{\sum_k \frac{P_k^m + P_k^f}{P_k^m + P_k^f}} = \sum_k \frac{\frac{B_{k \cdot}}{P_k^m} + \frac{B_{\cdot k}}{P_k^f}}{P_k^m + P_k^f}$$

ただし、父 i 歳母 j 歳の出生児数を B_{ij} 、父 i 歳の出生児数を $B_{i \cdot}$ 、母 j 歳の出生児数を $B_{\cdot j}$ 、男子 i 歳人口を P_i^m 、女子 j 歳人口を P_j^f とする。

3. 出生率の分子と分母

1) 分母人口を総人口にし、分子を日本における総出生数とする

従来、出生率は日本人を分母としたものが用いられている。これは分子となる出生数が、人口動態統計(本表の集計対象)で日本国籍のものみに限定されているからである。しかし、現実には日本人の誕生にかかわっているのは日本人だけではない。わが国における日本人の誕生には、父または母の一方として外国人が寄与しているのである⁴⁾。したがって、日本国籍の出生児を分子とする出生率

参考表1 非嫡出の出生児数の割合 (%)

年 次	非嫡出児の割合
1955	1.68
1960	1.22
1965	0.96
1970	—
1975	0.80
1980	0.80
1985	0.99
1986	0.97
1987	0.98

『人口動態統計』による。日本国籍の出生児に占める割合。

4) 父母の国籍別の出生数の集計は人口動態統計で行われていないが、出生児が結婚した直後の夫婦からもっとも多く発生するものと考えられるので、婚姻数を夫妻の国籍別にみると、日本国籍の子を生む「夫または妻が日本人」の婚姻総数 696,173件(1987年)のうち、妻が外国人のものは 10,176件 1.5%、夫が外国人のものは 4,408件 0.6%である。したがって、2%を超える日本国籍の出生児が外国人の父または母によって出生したものとみられる。

なお、1965年には妻が外国人である婚姻の割合は 0.1%、夫が外国人である婚姻の割合は 0.3%で、それぞれ22年間に15倍、2倍に増加したが、とくにここ数年間における妻が外国人の婚姻の割合の伸びは非常に大きい。人口問題研究所、『人口統計資料集 1988』(研究資料第260号, 1989年3月), p.62。

についても外国人を分母に含めなければならない。しかし、わが国にいる外国人は外国籍の子の誕生にもかかわっているため、分子が外国籍の子を除いた日本国籍の出生児数であると、分母に外国人を含む日本の総人口を用いた出生率は、過小になる。

一方、日本人女子はわが国において日本人を出産するだけでなく外国籍の子をも出産してきた。ただし、1984年の国籍法改正によりこのことは1985年以後起こらなくなり、外国籍の子が誕生するのは父母とも外国籍である場合にのみ限定された。したがって、少なくとも1984年までは日本人女子の出生率は、分子を日本国籍の出生児に限定すると過小になる。

出生という事象が出生児自身とその父と母が当事者であるという分子的な性格を持っていることを十分考慮せず、死亡率のアナロジーで出生率の分子・分母を扱い、分子・分母を日本人に限定することは理論的な誤りである。

以上の理由から、日本人口の出生率の算定には、外国人である出生児を含む総出生児数を分子とし、外国人を含む総人口を分母とする。ただし、外国籍の出生児の母および父の年齢は集計されていないため、外国人である出生総数を日本人の母および父の年齢別分布により比例配分する。外国籍の出生児数は総出生数の1%以下である(参考表2)ので、この方法も許容されよう。

参考表2 日本における出生児数

年次	出生児数			割合 (%)		
	総数	日本人	外国人	総数	日本人	外国人
1955	1,746,299	1,730,692	15,607	100.00	99.11	0.89
1960	1,619,175	1,606,041	13,134	100.00	99.19	0.81
1965	1,837,476	1,823,697	13,779	100.00	99.25	0.75
1970	1,947,944	1,934,239	13,705	100.00	99.30	0.70
1975	1,914,707	1,901,440	13,267	100.00	99.31	0.69
1980	1,588,632	1,576,889	11,743	100.00	99.26	0.74
1985	1,437,375	1,431,577	5,798	100.00	99.60	0.40
1986	1,388,878	1,382,946	5,932	100.00	99.57	0.43
1987	1,354,232	1,346,658	7,574	100.00	99.44	0.56

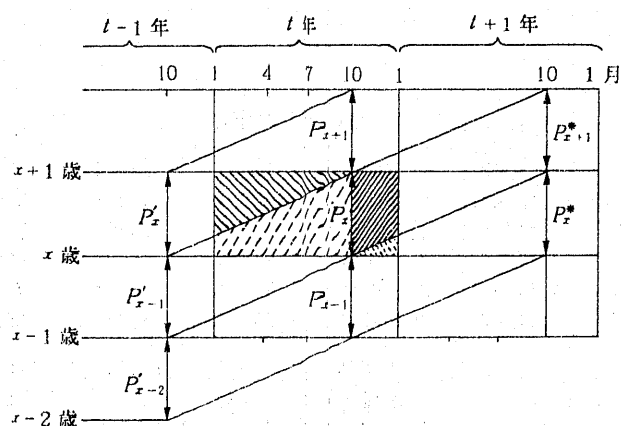
『人口動態統計』による。

2) 分母人口を年平均人口にする

従来、出生率は分母に10月1日人口が用いられてきたが、 x 歳の人口から発生する1年間の出生数は当年10月1日現在 x 歳のコーホートだけでなく、 $x+1$ 歳コーホートおよび $x-1$ 歳のコーホートがかかっている(図1)。したがって、たとえば1966年生まれのひのえうまコーホートの出生率はそれより大きな1967年生まれのコーホートの出生数を含むため過大に計算されてきた。これはEasterlin効果(小コーホートは高出生率)と誤解されることもある。

この3つのコーホートについての3年次の7つの人口を用いて、 x 歳の平均人口 \bar{P}_x は次の式で求められる。

図1 t 年の x 歳にかかわる3つのコーホート、8つの人口の関係



$$\bar{P}_x = \frac{1}{128} (27 P'_x + 9 P_{x+1} + 9 P'_{x-1} + 76 P_x + 3 P^*_{x+1} + 3 P_{x-1} + P^*_x)$$

ただし、' は前年10月1日人口、* は次年10月1日人口を示す。次年10月1日人口を用いると最新年度の率を求めるときに不便であるので、次年人口を次の式で代用する。

$$P^*_{x+1} = 2P_x - P'_{x-1}, \quad P^*_x = 2P_{x-1} - P'_{x-2}$$

したがって、実際には6つの人口を用いた次の式を適用する。

$$\bar{P}_x = \frac{1}{128} (27 P'_x + 6 P'_{x-1} - P'_{x-2} + 9 P_{x+1} + 82 P_x + 5 P_{x-1})$$

なお、75歳以上人口、総人口については次式を用いる。

$$\bar{P}_{75+} = \frac{1}{128} (32 P'_{75+} + 5 P'_{74} - P'_{73} + 96 P_{75+} - 9 P_{75} + 5 P_{74})$$

$$\bar{P} = \frac{1}{4} (P' + 3P)$$

結 果

1. 出生率の年次別変化

1980～1987年における男子、女子および男女計の合計出生率（平均子供数）の3つの方法による結果は表1に示す通りである。総出生数・総人口の平均によるものは男子は2.18から1.58へ、女子は2.13から1.68へ、男女計では2.16から1.63へ、それぞれ低下した。1987年の女子の合計出生率は従来の率1.69より約0.01小さい結果となった。1970～1987年の性・年齢別出生率は表2、3、4に示した。女子の年齢別出生率の最高値は、28歳0.17996（1987年）であるが、従来の率では27歳0.17959であった。1987年の男子、女子、および男女計の年齢別出生率は図2に示すとおり、男子の方が高年齢にシフトし、最高値が低い。また、平均出生年齢は1970年～87年の間に女子は27.75歳から28.53歳まで1歳未満しか上昇しなかったが、男子は28.86歳から31.24歳まで2歳以上上昇している。

2. 男女間の出生率の差

男子の合計出生率（平均子供数）は1975年まで女子より大きかったが、1980年以後は逆に女子より小さく、1987年は女1.68に対し、男1.58となっている。男女間の合計出生率の差は1985～87年3年間にやや小さくなり、1987年に0.10となっている。

表1 出生数と人口の種類別、性別、合計出生率（平均子供数）

年次	男			女			男 女 計		
	日本人	日本人平均	総人口平均	日本人	日本人平均	総人口平均	日本人	日本人平均	総人口平均
1970	2.18379	2.19253	2.18389	2.13494	2.13828	2.13000	2.15880	2.16450	2.15603
1975	1.97969	1.99175	1.99339	1.90941	1.90561	1.90728	1.94323	1.94735	1.94907
1980	1.62729	1.62074	1.62227	1.74652	1.73161	1.73239	1.68538	1.67461	1.67587
1985	1.63102	1.62173	1.61587	1.76397	1.75599	1.74816	1.69515	1.68648	1.67975
1986	1.60467	1.59514	1.58916	1.72324	1.71664	1.70865	1.66165	1.65360	1.64671
1987	1.58880	1.58029	1.57583	1.69071	1.68589	1.67979	1.63742	1.63079	1.62557

日 本 人：分子は日本国籍の出生児数、分母は10月1日の日本人男子人口または女子人口。

日本人平均：分子は日本国籍の出生児数、分母は年平均の日本人男子人口または女子人口。

総人口平均：分子は外国籍の出生児を含む総出生児数、分母は外国人を含む年平均の男子総人口または女子総人口。

なお、1955、60、65年の従来の方法による男子の合計出生率はそれぞれ2.90251、2.21164、2.25904で、女子の2.37676、2.01549、2.14982（男子と同様に5歳階級別出生率を用いたもの）に比べていずれも大きい。1965～1970年ごろの男子人口の調査もれ率は女子人口のそれより最大5%程度大きいことが知られている⁵⁾ので、1965～70年ごろ正確な人口のもとづいた場合男子と女子の出生率のどちらかが高かったかはわからないが、長期的に男子高率から女子高率へと変化してきたことは確認できる。

3. 分母人口を平均人口にした効果

各年齢別出生率および合計出生率（平均

子供数）は、分母を平均人口としたため、1980年以後、従来値より小さくなる（表1「日本人」と「日本人平均」との比較）。平均人口は10月1日より約3月前の時点の人口に相当し、産みざかりの若い人口においては人口が最近減っているため、10月1日人口より大きいからである。

なお、普通出生率（表4の総数欄の2分の1）は分母を平均人口としたため、逆に従来値より大きくなる。平均人口は10月1日より前の時点の人口に相当し、より小さくなるからである。

また、平均人口を用いたひのえうま世代の出生率（1987年21歳、1986年20歳等々の出生率の半分がこれに該当する）は他のコーホートに比べて高くなく、従来値にみられた異常な高さ⁶⁾は消滅した。

4. 分子・分母に外国人を含めた効果

分母を総人口とする出生率は、1985年以後従来値より低い（表1「日本人平均」と「総人口平均」との比較）。従来値の分子が1985年以後、外国人の夫をもつ日本人女子の出生児数の分だけ、範囲が広がっている。したがって、この時期の総出生数・総人口による出生率においては分子の出生児に外国人を加えたことよりも分母人口に外国人を含めた方が効果が大きいから、従来値の方法による出生率より小さくなったのである。逆にいえば、従来値の率は分母に外国人を含まないため過大となっている。ただし、1975、1980年は日本人女子が外国人をも産んでいたため、この分を分子に含めない従来値の出生率は、分母を日本人に限定してはいたが、総出生数・総人口による率より小さくなった。

考 察——なぜ男子の出生率が女子より低くなったか

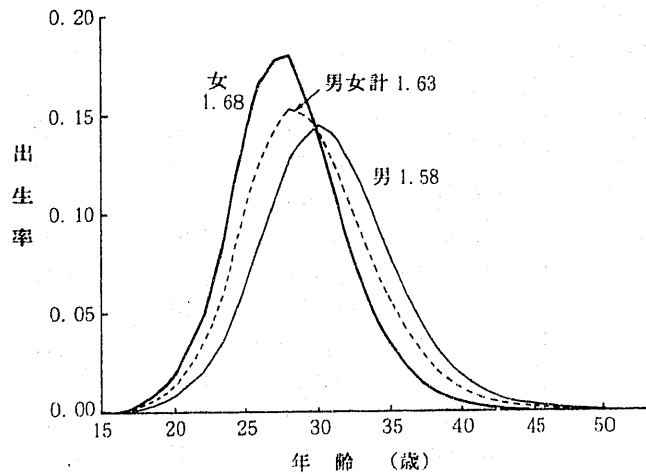
人口性比は参考表3のように、1965年から1987年の間に15-49歳人口で96.6から101.6に、20-39歳人口で99.4から101.9に、また各年齢5歳階級ごとにみても、着実に上昇している。さらに、年齢各歳ごとに3歳上の男子人口と女子人口との性比をみると（参考表4）、1987年では1970年に比べ明らかに適齢期の多くの年齢で性比が高まっている。1960～1970年の20歳代の国勢調査人口において男子の方がもれ率が高い⁷⁾とはいえ、長期的に適齢期における人口性比が高まっていることは否定できない。

5) 厚生省人口問題研究所（阿藤誠・伊藤達也・高橋重郷・石川晃・池ノ上正子）、「戦後の日本人人口ならびに人口動態率改算の試み」、研究資料第238号、1985年10月。

6) 1981年（15歳時）コーホート21歳で累積出生率は0.08362（厚生省人口問題研究所、『人口統計資料集1988』、p.136、表5(4)）。

7) 注5文献参照。

図2 性別年齢別出生率：1987年



図中の数字は合計出生率(平均子供数)

参考表3 適齢期の性別年齢別総人口および性比

単位(1,000人)

年次性別	15-49	20-39	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49歳	
1965 男	26,981	16,548	4,496	4,157	4,147	3,748	2,730	2,225	
1965 女	27,943	16,640	4,572	4,207	4,110	3,751	3,232	2,697	
1970 男	29,272	18,261	5,345	4,546	4,216	4,155	3,691	2,697	
1970 女	29,799	18,329	5,383	4,602	4,226	4,118	3,703	3,223	
1975 男	30,666	18,837	4,566	5,429	4,627	4,215	4,127	3,659	
1975 女	30,428	18,712	4,509	5,370	4,622	4,211	4,100	3,706	
1980 男	30,964	18,538	3,963	4,549	5,426	4,599	4,163	4,037	
1980 女	30,630	18,341	3,882	4,498	5,352	4,609	4,180	4,059	
1985 男	31,330	18,079	4,168	3,950	4,560	5,401	4,554	4,094	
1985 女	30,860	17,749	4,035	3,876	4,497	5,341	4,584	4,145	
1987 男	31,409	18,055	4,113	3,920	4,341	5,682	4,323	4,159	
1987 女	30,907	17,711	3,975	3,841	4,276	5,619	4,346	4,218	
			性				比		
1965	96.6	99.4	98.3	98.8	100.9	99.9	84.5	82.5	
1970	98.2	99.6	99.3	98.8	99.8	100.9	99.7	83.7	
1975	100.8	100.7	101.3	101.1	100.1	100.1	100.7	98.7	
1980	101.1	101.1	102.1	101.1	101.4	99.8	99.6	99.5	
1985	101.5	101.9	103.3	101.9	101.4	101.1	99.3	98.8	
1987	101.6	101.9	103.5	102.0	101.5	101.1	99.5	98.6	

総務庁、『国勢調査報告』および『人口推計資料』による。性比は女100に対する男の数。

合計出生率(平均子供数)について $TFR^m < TFR^f$ になる条件を考えてみると、適齢期あるいは産み盛りのある年齢幅 $\alpha \sim \beta$ において、その平均人口の性比が1より大になること、つまり

$$\bar{P}_{\alpha-\beta}^m > \bar{P}_{\alpha-\beta}^f$$

であり、その平均人口について次のような関係が成立していることである。

$$TFR_m = \sum_i \frac{B_{i.}}{P_i^m} \leq \frac{\sum B_{i.}}{\bar{P}_{\alpha-\beta}^m} \dots\dots\dots ①$$

$$\frac{\sum B_{.j}}{\bar{P}_{\alpha-\beta}^f} \leq \sum_j \frac{B_{.j}}{P_j^f} = TFR^f \dots\dots\dots ②$$

ただし、 $\sum B_{i.} = \sum B_{.j}$ (出生総数)。

実際たとえば、1987年の18~34歳人口をとると男840,688人、女817,157人で、性比は1.02880。男子平均人口を用いた出生率、①の右辺の値は1.61086で TFR^m 、1.57583より大きい。また、女子平均人口を用いた出生率、②の左辺の値は1.65725で TFR^f 、1.67979より小である。こうして、1987年の男子の合計出生率は女子のそれより小さくなるのである。

ただし、上の条件はひとつの十分条件であって、必要条件でない。 TFR^m と TFR^f を介在する適当な男子の平均人口と女子の平均人口が存在すれば、その大小関係が定まる。

一般に、もし仮に男および女それぞれについて年齢別人口が全く一定とすると、合計出生率は出生数が年齢別人口のように分布しようとは変化しない。そして、男の合計出生率の高さと女の合計出生率の高さは男の（年齢別）人口と女の人口の大きさに反比例する。上の条件はこの年齢別人口一定の条件をややゆるめたものといえる。

参考表4 年齢各歳別女子と3歳上の男子との性比

女の年齢	1987年		1970年	
	3歳上の男子との性比	3歳ごとの移動平均	3歳上の男子との性比	3歳ごとの移動平均
15	0.98304	0.98227	1.14129	1.16934
16	0.98151	0.99323	1.19739	1.18395
17	1.01514	0.93184	1.21319	1.22293
18	0.79887	0.94164	1.25822	1.21905
19	1.01090	0.91467	1.18575	1.16145
20	0.93422	1.03552	1.04037	0.94191
21	1.16143	0.99953	0.59961	0.75981
22	0.90295	1.00656	0.63945	0.68702
23	0.95530	0.94925	0.82200	0.91035
24	0.98949	0.99425	1.26960	1.10575
25	1.03796	1.01838	1.22566	1.16044
26	1.02768	1.01911	0.98605	1.04794
27	0.99170	1.01423	0.93212	0.90408
28	1.02332	1.03707	0.79407	0.86596
29	1.09620	1.08043	0.87170	0.88237
30	1.12176	1.11708	0.98133	0.99721
31	1.13328	1.13557	1.13859	1.04564
32	1.15167	1.17096	1.01700	1.03562
33	1.22792	1.20482	0.95127	0.97628
34	1.23488	1.24829	0.96055	0.96415
35	1.28207	1.23882	0.98063	0.97859
36	1.19952	1.18157	0.99459	0.97026
37	1.06313	0.95545	0.93557	0.95142
38	0.60369	0.77270	0.92411	0.92534
39	0.65128	0.69602	0.91635	0.92315
40	0.83308	0.74218	0.92897	0.92266

総務庁、『国勢調査報告』および『人口推計資料』による。女子 x 歳の移動平均は女子 $x-1$ 、 x 、 $x+1$ 歳の性比の平均。

表2 男子の出生率

年 齢	1970	1975	1980	1985	1986	1987年
総 数	0.03809	0.03493	0.02763	0.02419	0.02325	0.02256
17	0.00006	0.00002	0.00002	0.00003	0.00002	0.00002
18	0.00116	0.00076	0.00095	0.00131	0.00133	0.00118
19	0.00457	0.00274	0.00304	0.00430	0.00377	0.00392
20	0.01366	0.00741	0.00729	0.00898	0.00889	0.00778
21	0.02887	0.01645	0.01328	0.01467	0.01453	0.01416
22	0.05366	0.02998	0.02127	0.02303	0.02148	0.02046
23	0.08936	0.05083	0.03531	0.03435	0.03286	0.03054
24	0.12166	0.07866	0.05561	0.05042	0.04876	0.04596
25	0.17214	0.10884	0.07981	0.06985	0.06721	0.06473
26	0.22629	0.14023	0.10560	0.09546	0.09049	0.08665
27	0.25270	0.16971	0.12823	0.11608	0.11334	0.10708
28	0.26746	0.18800	0.14332	0.13454	0.12729	0.12733
29	0.24892	0.18143	0.15369	0.14548	0.14099	0.13718
30	0.20039	0.18606	0.15393	0.14906	0.14578	0.14421
31	0.14089	0.17590	0.14426	0.14242	0.13978	0.14000
32	0.10133	0.14833	0.13075	0.12985	0.12826	0.12889
33	0.06744	0.12413	0.10946	0.11158	0.11178	0.11366
34	0.04858	0.09757	0.08247	0.09316	0.09372	0.09564
35	0.03489	0.07488	0.06712	0.07571	0.07653	0.07733
36	0.02504	0.05592	0.05320	0.05949	0.06154	0.06223
37	0.01887	0.04151	0.03719	0.04460	0.04494	0.04644
38	0.01416	0.03066	0.02827	0.03266	0.03396	0.03509
39	0.01086	0.02289	0.01959	0.02219	0.02463	0.02555
40	0.00820	0.01590	0.01356	0.01588	0.01613	0.01770
41	0.00650	0.01139	0.00930	0.01170	0.01133	0.01198
42	0.00533	0.00891	0.00721	0.00843	0.00857	0.00858
43	0.00376	0.00632	0.00502	0.00592	0.00599	0.00623
44	0.00310	0.00439	0.00357	0.00401	0.00414	0.00419
45	0.00271	0.00331	0.00262	0.00296	0.00302	0.00301
46	0.00225	0.00241	0.00189	0.00200	0.00218	0.00218
47	0.00168	0.00174	0.00135	0.00146	0.00147	0.00155
48	0.00159	0.00126	0.00106	0.00110	0.00115	0.00107
49	0.00108	0.00111	0.00068	0.00082	0.00083	0.00085
50	0.00084	0.00081	0.00049	0.00053	0.00063	0.00058
51	0.00066	0.00062	0.00041	0.00041	0.00043	0.00045
52	0.00053	0.00055	0.00032	0.00032	0.00033	0.00032
53	0.00043	0.00033	0.00023	0.00024	0.00025	0.00029
54	0.00040	0.00027	0.00018	0.00019	0.00018	0.00017

表2 男子の出生率 (つづき)

年 齢	1970	1975	1980	1985	1986	1987年
55	0.00033	0.00020	0.00014	0.00014	0.00014	0.00016
56	0.00027	0.00017	0.00014	0.00012	0.00013	0.00011
57	0.00019	0.00012	0.00011	0.00010	0.00009	0.00008
58	0.00020	0.00011	0.00006	0.00007	0.00008	0.00005
59	0.00015	0.00010	0.00007	0.00006	0.00005	0.00006
60	0.00013	0.00007	0.00004	0.00004	0.00003	0.00004
61	0.00008	0.00007	0.00005	0.00004	0.00003	0.00003
62	0.00009	0.00008	0.00002	0.00003	0.00002	0.00003
63	0.00004	0.00004	0.00001	0.00002	0.00003	0.00002
64	0.00002	0.00003	0.00002	0.00001	0.00001	0.00002
65	0.00006	0.00005	0.00001	0.00001	0.00001	0.00002
66	0.00002	0.00003	0.00002	0.00001	0.00001	0.00001
67	0.00002	0.00001	0.00001	0.00002	0.00001	0.00000
68	0.00001	0.00002	0.00002	0.00001	0.00001	0.00000
69	0.00000	0.00001	0.00001	0.00001	0.00000	0.00001
70	0.00000	0.00000	0.00001	0.00000	0.00000	0.00000
71	0.00005	0.00003	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000
72	0.00003	0.00000	0.00000	0.00001	0.00000	0.00000
73	0.00000	0.00001	0.00000	0.00000	0.00000	0.00001
74	0.00001	0.00001	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000
75+	0.00003	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000
15-19	0.00116	0.00070	0.00080	0.00113	0.00102	0.00102
20-24	0.06144	0.03667	0.02655	0.02629	0.02530	0.02378
25-29	0.23350	0.15764	0.12213	0.11228	0.10786	0.10459
30-34	0.11173	0.14640	0.12417	0.12521	0.12386	0.12448
35-39	0.02076	0.04517	0.04108	0.04693	0.04832	0.04933
40-44	0.00538	0.00938	0.00773	0.00919	0.00923	0.00974
45-49	0.00186	0.00197	0.00152	0.00167	0.00173	0.00173
50-54	0.00057	0.00051	0.00033	0.00034	0.00036	0.00036
55-59	0.00023	0.00014	0.00010	0.00010	0.00010	0.00009
60-64	0.00007	0.00006	0.00002	0.00003	0.00003	0.00003
65-69	0.00002	0.00002	0.00001	0.00001	0.00001	0.00001
70-74	0.00002	0.00001	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000
75+	0.00003	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000
TFR	2.18389	1.99339	1.62227	1.61587	1.58916	1.57583
平均年齢	28.86	30.49	30.73	31.01	31.12	31.24

TFRは合計出生率または平均子供数。総数は総出生数の男子総人口に対する率。平均年齢は率による。1970年は第1子についての年齢分布を全出生児に適用した。

表3 女子の出生率

年 齢	1970	1975	1980	1985	1986	1987年
総 数	0.03674	0.03380	0.02677	0.02340	0.02248	0.02181
15	0.00012	0.00005	0.00006	0.00013	0.00011	0.00011
16	0.00031	0.00040	0.00051	0.00075	0.00070	0.00063
17	0.00148	0.00183	0.00205	0.00248	0.00235	0.00213
18	0.00517	0.00531	0.00505	0.00570	0.00552	0.00517
19	0.01320	0.01271	0.01122	0.01316	0.01158	0.01131
20	0.02867	0.02794	0.02162	0.02204	0.02184	0.01906
21	0.05459	0.05483	0.03904	0.03541	0.03382	0.03258
22	0.09926	0.09371	0.06431	0.05525	0.05088	0.04801
23	0.15397	0.14074	0.10533	0.08398	0.07912	0.07265
24	0.18893	0.18637	0.15201	0.11973	0.11470	0.10753
25	0.22435	0.21108	0.18571	0.15666	0.14703	0.13967
26	0.23506	0.21375	0.20118	0.18535	0.17311	0.16672
27	0.21700	0.20246	0.19419	0.19237	0.18609	0.17777
28	0.19776	0.17820	0.17366	0.18384	0.17957	0.17996
29	0.16682	0.13862	0.14686	0.16429	0.16379	0.16226
30	0.13543	0.11258	0.11768	0.13777	0.13861	0.13980
31	0.10189	0.08788	0.08827	0.10705	0.10932	0.11246
32	0.08242	0.06579	0.06712	0.08194	0.08440	0.08708
33	0.06297	0.05002	0.04950	0.06129	0.06266	0.06560
34	0.04814	0.03646	0.03272	0.04477	0.04547	0.04756
35	0.03452	0.02645	0.02313	0.03113	0.03275	0.03373
36	0.02483	0.01886	0.01723	0.02188	0.02299	0.02411
37	0.01811	0.01370	0.01152	0.01508	0.01529	0.01599
38	0.01251	0.00975	0.00806	0.01016	0.01059	0.01081
39	0.00846	0.00675	0.00561	0.00644	0.00694	0.00724
40	0.00552	0.00450	0.00358	0.00399	0.00394	0.00440
41	0.00356	0.00277	0.00221	0.00250	0.00251	0.00252
42	0.00224	0.00188	0.00145	0.00156	0.00145	0.00142
43	0.00121	0.00102	0.00077	0.00077	0.00081	0.00083
44	0.00071	0.00049	0.00039	0.00040	0.00041	0.00042
45	0.00043	0.00024	0.00020	0.00017	0.00019	0.00015
46	0.00018	0.00010	0.00007	0.00007	0.00006	0.00007
47	0.00009	0.00005	0.00004	0.00004	0.00003	0.00003
48	0.00005	0.00002	0.00001	0.00001	0.00001	0.00001
49	0.00003	0.00001	0.00001	0.00000	0.00000	0.00000
15-19	0.00406	0.00406	0.00378	0.00445	0.00405	0.00387
20-24	0.10508	0.10072	0.07646	0.06328	0.06007	0.05597
25-29	0.20820	0.18882	0.18032	0.17650	0.16992	0.16528
30-34	0.08617	0.07055	0.07106	0.08656	0.08809	0.09050
35-39	0.01969	0.01510	0.01311	0.01694	0.01771	0.01838
40-44	0.00265	0.00213	0.00168	0.00184	0.00182	0.00192
45-49	0.00016	0.00008	0.00006	0.00006	0.00006	0.00005
TFR	2.13000	1.90728	1.73239	1.74816	1.70865	1.67979
平均年齢	27.75	27.48	27.76	28.26	28.39	28.53

TFRは合計出生率または平均子供数。総数は総出生率の女子総人口に対する率。平均年齢は率による。

表4 男女計の出生率

年 齢	1970	1975	1980	1985	1986	1987年
総 数	0.03740	0.03435	0.02720	0.02379	0.02286	0.02218
15	0.00006	0.00002	0.00003	0.00006	0.00005	0.00005
16	0.00015	0.00019	0.00025	0.00037	0.00034	0.00031
17	0.00076	0.00091	0.00102	0.00122	0.00116	0.00105
18	0.00315	0.00300	0.00296	0.00345	0.00337	0.00312
19	0.00887	0.00766	0.00706	0.00864	0.00759	0.00752
20	0.02116	0.01756	0.01434	0.01538	0.01524	0.01330
21	0.04174	0.03550	0.02598	0.02485	0.02400	0.02320
22	0.07650	0.06172	0.04258	0.03887	0.03592	0.03399
23	0.12174	0.09571	0.07005	0.05881	0.05562	0.05123
24	0.15544	0.13246	0.10346	0.08462	0.08128	0.07625
25	0.19845	0.15993	0.13235	0.11276	0.10662	0.10171
26	0.23072	0.17696	0.15314	0.13998	0.13135	0.12620
27	0.23470	0.18605	0.16109	0.15391	0.14938	0.14205
28	0.23242	0.18312	0.15844	0.15899	0.15321	0.15341
29	0.20769	0.16007	0.15029	0.15481	0.15229	0.14961
30	0.16777	0.14920	0.13589	0.14347	0.14223	0.14203
31	0.12131	0.13174	0.11642	0.12486	0.12470	0.12635
32	0.09184	0.10698	0.09914	0.10601	0.10650	0.10820
33	0.06520	0.08707	0.07972	0.08656	0.08736	0.08982
34	0.04836	0.06700	0.05769	0.06909	0.06972	0.07173
35	0.03470	0.05063	0.04510	0.05353	0.05475	0.05564
36	0.02493	0.03736	0.03518	0.04078	0.04236	0.04327
37	0.01849	0.02757	0.02434	0.02993	0.03019	0.03129
38	0.01334	0.02021	0.01817	0.02149	0.02235	0.02301
39	0.00967	0.01484	0.01260	0.01433	0.01585	0.01645
40	0.00687	0.01021	0.00856	0.00992	0.01004	0.01110
41	0.00503	0.00708	0.00575	0.00708	0.00690	0.00726
42	0.00379	0.00540	0.00432	0.00498	0.00499	0.00499
43	0.00247	0.00368	0.00289	0.00334	0.00339	0.00352
44	0.00188	0.00244	0.00198	0.00220	0.00227	0.00229
45	0.00153	0.00178	0.00141	0.00156	0.00160	0.00158
46	0.00114	0.00125	0.00097	0.00103	0.00112	0.00112
47	0.00080	0.00089	0.00069	0.00075	0.00074	0.00078
48	0.00072	0.00063	0.00053	0.00055	0.00057	0.00054
49	0.00049	0.00055	0.00034	0.00041	0.00042	0.00042
50	0.00037	0.00039	0.00024	0.00026	0.00031	0.00029
51	0.00031	0.00029	0.00020	0.00020	0.00021	0.00022
52	0.00024	0.00024	0.00016	0.00016	0.00017	0.00016
53	0.00020	0.00014	0.00011	0.00012	0.00012	0.00014
54	0.00018	0.00012	0.00009	0.00009	0.00009	0.00008

表4 男女計の出生率 (つづき)

年 齢	1970	1975	1980	1985	1986	1987年
55	0.00015	0.00009	0.00007	0.00007	0.00007	0.00008
56	0.00013	0.00008	0.00006	0.00006	0.00006	0.00005
57	0.00009	0.00006	0.00005	0.00005	0.00004	0.00004
58	0.00009	0.00005	0.00003	0.00003	0.00004	0.00002
59	0.00007	0.00005	0.00003	0.00003	0.00002	0.00003
60	0.00006	0.00003	0.00002	0.00002	0.00001	0.00002
61	0.00004	0.00003	0.00002	0.00002	0.00001	0.00001
62	0.00004	0.00004	0.00001	0.00001	0.00001	0.00001
63	0.00002	0.00002	0.00000	0.00001	0.00001	0.00001
64	0.00001	0.00002	0.00001	0.00000	0.00001	0.00001
65	0.00003	0.00002	0.00000	0.00001	0.00001	0.00001
66	0.00001	0.00002	0.00001	0.00001	0.00000	0.00000
67	0.00001	0.00001	0.00000	0.00001	0.00000	0.00000
68	0.00000	0.00001	0.00001	0.00000	0.00000	0.00000
69	0.00000	0.00000	0.00000	0.00001	0.00000	0.00000
70	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000
71	0.00002	0.00001	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000
72	0.00002	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000
73	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000
74	0.00001	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000
75+	0.00001	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000
15-19	0.00260	0.00236	0.00226	0.00275	0.00250	0.00241
20-24	0.08331	0.06859	0.05128	0.04451	0.04241	0.03959
25-29	0.22079	0.17323	0.15106	0.14409	0.13857	0.13460
30-34	0.09890	0.10840	0.09778	0.10600	0.10610	0.10763
35-39	0.02023	0.03012	0.02708	0.03201	0.03310	0.03393
40-44	0.00401	0.00576	0.00470	0.00550	0.00552	0.00583
45-49	0.00094	0.00102	0.00079	0.00086	0.00089	0.00089
50-54	0.00026	0.00024	0.00016	0.00017	0.00018	0.00018
55-59	0.00011	0.00006	0.00005	0.00005	0.00005	0.00005
60-64	0.00003	0.00003	0.00001	0.00001	0.00001	0.00001
65-69	0.00001	0.00001	0.00001	0.00001	0.00000	0.00000
70-74	0.00001	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000
75+	0.00001	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000
TFR	2.15603	1.94907	1.67587	1.67975	1.64671	1.62557
平均年齢	28.31	29.02	29.20	29.59	29.72	29.86

TFRは合計出生率または平均子供数。総数は総出生数の総人口に対する率(普通出生率)の2倍。
平均年齢は率による。